



2021年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月9日

上場会社名 株式会社 京進

上場取引所 東

コード番号 4735 URL <https://www.kyoshin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福澤一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本敏照

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 2021年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第3四半期の連結業績(2020年6月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	17,571	1.7	334	55.1	597	24.2	230	4.0
2020年5月期第3四半期	17,282	13.1	745	28.8	788	28.6	239	60.9

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 201百万円 (18.0%) 2020年5月期第3四半期 245百万円 (60.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	29.57	
2020年5月期第3四半期	30.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第3四半期	21,655	3,794	17.5	487.42
2020年5月期	23,047	3,743	16.2	480.84

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 3,794百万円 2020年5月期 3,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		0.00		19.28	19.28
2021年5月期		0.00			
2021年5月期(予想)				0.40	0.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,092	4.8	33		175		10	97.9	1.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期3Q	8,396,000 株	2020年5月期	8,396,000 株
期末自己株式数	2021年5月期3Q	610,258 株	2020年5月期	610,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期3Q	7,785,742 株	2020年5月期3Q	7,785,742 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞の影響を受け、景況感が悪化し先行き不透明な状況で推移いたしました。緊急事態宣言の解除後は経済活動が段階的に再開し、政府による各種経済対策もあり回復の兆しがみられた一方で、感染再拡大に伴う先行き不透明感から個人消費へのマイナス影響が懸念され、引き続き予断を許さない状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は17,571百万円（前年同期比1.7%増）となり、前年同期に比べ289百万円増加しました。営業利益は334百万円（同55.1%減）となり、前年同期に比べ410百万円減少しました。経常利益は597百万円（同24.2%減）となり、前年同期に比べ190百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は230百万円（同4.0%減）となり、前年同期に比べ9百万円減少しました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

<学習塾事業>

学習塾事業においては、2020年春の感染症拡大防止のための休講の影響で、生徒数（フランチャイズ事業における末端生徒数含む）が減少（2.4%減、前年同期に比べ660人減少）により、減収増益となりました。春先の入室生は大きく減少したもののオンライン授業など代替の施策を展開し、業績への影響を最小限にとどめることができました。当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高8,518百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益1,897百万円（同1.8%増）となりました。

<語学関連事業>

英会話事業においては、国内の英会話教室は休講の影響で入室数が減少しておりましたが、2020年6月以降の入室は前年並みに回復いたしました。オーストラリアの英会話学校は入国制限の影響で生徒数が減少しました。日本語教育事業においては、入国制限により一時期、留学生の入学ができませんでしたが、2020年10月に留学生の入国が可能となり、入国が遅れていた留学生が入学しました。また、2021年4月入学生については、再度の緊急事態宣言の影響で日本への入国は遅れておりますが、部分的にはあるもののオンライン授業の提供により授業料売上を確保しております。キャリア支援事業部では、介護の資格取得スクール「介護のキャンパス」の授業提供を、これまでの大阪の4か所に加えて2021年2月から兵庫県神戸市三宮でも開始しました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、顧客数の減少（前年同期比14.7%減、前年同期に比べ1,065人減少）により売上高1,933百万円（同25.5%減）となりました。旅費交通費等の費用削減は行ったものの、売上高減少の影響により、セグメント損失559百万円（前年同期は260百万円の損失）となりました。

<保育・介護事業>

保育事業では、2020年8月に千葉県習志野市に「HOPPA津田沼ザ・タワー園」を開園し、当社グループ及び連結子会社の保育園の園数は88園となりました。介護事業では、2020年9月に大阪府豊中市に「プレタ豊中桜の町」を開設し、当社グループ及び連結子会社の介護事業所数は44か所となりました。フードサービス事業では、2020年5月に子会社である株式会社もぐもぐの工場を移転し、新たに長期保存可能な設備の導入を行うことで、販路拡大を図っております。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、顧客数の増加により、売上高7,129百万円（前年同期比17.9%増）となりましたが、2020年の保育園開園による人件費、減価償却費、採用費の増加が影響し、セグメント損失201百万円（前年同期は26百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、21,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,391百万円減少しました。流動資産は、4,770百万円となり1,690百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少1,930百万円、売掛金の増加156百万円等です。固定資産は16,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ299百万円増加しました。有形固定資産は、12,275百万円（前連結会計年度末に比べ413百万円増加）となりました。主な要因は、建物の減少175百万円、建設仮勘定の増加188百万円、リース資産の増加481百万円等です。無形固定資産は、1,894百万円（前連結会計年度末に比べ193百万円減少）となりました。主な要因は、のれんの減少225百万円です。投資その他の資産は、2,715百万円（前連結会計年度末に比べ79百万円増加）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の増加76百万円等です。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、17,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,442百万円減少しました。流動負債は、8,197百万円となり1,452百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の減少1,491百万

円、未払金の増加414百万円、未払法人税等の増加110百万円、前受金の減少423百万円、賞与引当金の増加173百万円、その他の減少312百万円等です。固定負債は9,663百万円となり、10百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の減少493百万円、リース債務の増加502百万円等です。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,794百万円となり、前連結会計年度末に比べ、51百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加80百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末16.2%から1.3ポイント上昇し17.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国内の日本語学校への海外からの留学生の入学停止や、オーストラリアでの英会話学校の留学生の入学停止など、大きく影響を受けております。オーストラリアでは依然として入学規制が継続され、留学生の入学ができないものの、国内の日本語学校では、2020年10月以降、徐々に留学生の来日が可能になり、適宜入学を進めました。2021年の再度の緊急事態宣言により、2021年4月からの留学生の入学が遅れてはいるものの、オンライン講座を開講するなど収益の確保に努めております。今後の入学制限の状況は不透明ではありますが、発表日現在の留学生の入学状況を前提として、2021年5月期の見通しを作成しております。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在、入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,053,713	3,123,059
売掛金	708,062	865,011
商品	76,419	106,430
貯蔵品	16,518	19,557
その他	641,044	688,363
貸倒引当金	△34,779	△31,806
流動資産合計	6,460,979	4,770,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,035,509	6,860,122
土地	2,780,127	2,778,821
リース資産(純額)	1,573,728	2,055,396
建設仮勘定	5,331	194,102
その他(純額)	467,813	387,370
有形固定資産合計	11,862,510	12,275,812
無形固定資産		
のれん	1,802,351	1,577,333
その他	285,245	317,113
無形固定資産合計	2,087,597	1,894,446
投資その他の資産		
投資有価証券	104,921	99,738
繰延税金資産	836,081	828,497
敷金及び保証金	1,527,256	1,603,458
その他	169,415	185,014
貸倒引当金	△1,671	△1,645
投資その他の資産合計	2,636,003	2,715,063
固定資産合計	16,586,111	16,885,322
資産合計	23,047,090	21,655,938

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,343	162,762
短期借入金	4,759,869	3,268,100
1年内返済予定の長期借入金	1,546,970	1,521,092
リース債務	75,595	94,571
未払金	758,309	1,173,296
未払法人税等	146,971	257,729
前受金	1,178,848	755,200
賞与引当金	105,448	278,553
資産除去債務	10,791	21,100
その他	977,850	664,880
流動負債合計	9,649,998	8,197,286
固定負債		
長期借入金	4,558,895	4,065,010
リース債務	1,717,483	2,219,749
退職給付に係る負債	1,794,772	1,852,301
役員退職慰労引当金	219,410	210,085
資産除去債務	355,836	349,935
繰延税金負債	906,613	852,397
その他	100,405	114,281
固定負債合計	9,653,417	9,663,761
負債合計	19,303,416	17,861,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	3,804,902	3,885,023
自己株式	△695,920	△695,920
株主資本合計	3,700,829	3,780,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,058	26,562
為替換算調整勘定	63,119	27,688
退職給付に係る調整累計額	△50,332	△40,309
その他の包括利益累計額合計	42,844	13,940
純資産合計	3,743,674	3,794,891
負債純資産合計	23,047,090	21,655,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
売上高	17,282,372	17,571,462
売上原価	13,191,852	13,984,959
売上総利益	4,090,519	3,586,503
販売費及び一般管理費	3,345,130	3,251,623
営業利益	745,388	334,879
営業外収益		
受取利息	1,291	1,361
受取配当金	2,627	2,499
為替差益	—	40,155
貸倒引当金戻入額	257	—
持分法による投資利益	1,749	—
助成金収入	—	151,140
補助金収入	105,873	159,453
雑収入	31,016	35,806
営業外収益合計	142,816	390,416
営業外費用		
支払利息	96,139	119,407
為替差損	3,322	—
貸倒引当金繰入額	—	3,284
持分法による投資損失	—	1,692
雑損失	472	3,615
営業外費用合計	99,934	128,000
経常利益	788,271	597,295
特別利益		
固定資産売却益	163	4,277
投資有価証券売却益	189	—
特別利益合計	352	4,277
特別損失		
減損損失	150,474	24,335
固定資産除却損	636	11,092
投資有価証券評価損	645	—
貸借契約解約損	—	4,900
訴訟関連損失	7,000	—
特別損失合計	158,757	40,328
税金等調整前四半期純利益	629,866	561,244
法人税、住民税及び事業税	401,859	383,356
法人税等調整額	△11,722	△52,342
法人税等合計	390,136	331,014
四半期純利益	239,730	230,230
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,730	230,230

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	239,730	230,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,488	△3,495
為替換算調整勘定	△445	△34,092
退職給付に係る調整額	9,801	10,022
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	△1,338
その他の包括利益合計	5,795	△28,904
四半期包括利益	245,525	201,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,525	201,326

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,638,863	2,593,024	6,048,831	17,280,719	1,652	17,282,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,638,863	2,593,024	6,048,831	17,280,719	1,652	17,282,372
セグメント利益又は損 失(△)	1,863,791	△260,029	26,816	1,630,579	△885,190	745,388

(注)1. (1)セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高によるものであります。

(2)セグメント利益又は損失(△)の調整額△885,190千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△975,277千円及びその他の調整額90,086千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

(注)2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	語学関連事業	保育・介護事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,518,278	1,923,874	7,129,298	17,571,451	11	17,571,462
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,196	—	9,196	△9,196	—
計	8,518,278	1,933,070	7,129,298	17,580,647	△9,184	17,571,462
セグメント利益又は損 失(△)	1,897,770	△559,165	△201,057	1,137,547	△802,667	334,879

- (注)1. (1)セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高によるものであります。
(2)セグメント利益又は損失(△)の調整額△802,667千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△962,259千円及びその他の調整額159,591千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
- (注)2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。